

野焼きは原則禁止

家庭ごみや事業所から出たごみを屋外で燃やす行為(野焼き)は、原則禁止されています。ごみの焼却は、法の基準を満たした焼却施設で処分しなければなりません。自宅の敷地内に穴を掘り、その中でごみを焼却したり、ドラム缶やブロック積みでの焼却も同じく、野焼きとみなされます。

なぜ野焼きは禁止なのか

野焼きは、焼却温度が低く燃やすものによっては有害物質であるダイオキシンの発生原因になります。また、生活環境の悪化につながり、「洗濯物が干せない」「においのせいで気分が悪くなった」「煙でのどが痛い」などさまざまな苦情の原因となります。

野焼きが認められる場合

- 野焼きは原則禁止ですが、以下の行為は例外です。
 - ①農作業を営む上でやむを得ず行う焼却
 - ②風俗習慣上・宗教上の行事を行うために必要な焼却
 - 例) どんど焼き※実施の際は、早めに消防署への届出、地域内での周知を行ってください。
 - ③日常生活を営む上で行っている軽微な焼却
 - 例) キャンプファイヤー、たき火
- 例外であっても、延焼に十分留意して消火するまでその場を離れないことに加え、周囲の住宅環境に配慮してください。

ごみ分別大辞典

ごみ出しのルールを守ろう

ごみ出しのルールが守られていないと、不法投棄の原因につながったり、ごみが収集されず残ったままになります。気持ちよく生活できるようお互いにルールやマナーはしっかり守りましょう。

収集日の朝8時30分までにお願いします

収集は、午前8時30分から行います。地区や曜日で、収集の順番が異なりますので必ず時間より前に出しましょう。

ごみ袋の中に入れて出してください

ダンボールや枝などをひもで縛り、ごみ袋をひもに括り付けて出している場合は収集できません。完全に袋の中に入れて出しましょう。



1回につきごみ袋は5袋までです

ごみステーションに入のごみ袋の数は限りがあります。普段より多く出す場合は、ほかの住民の皆さんの迷惑にならないよう、数回に分けて捨てましょう。

連載「人権シリーズ企画」

「きんぐめく男女」と

役場人権推進課 男女共同参画推進係 ☎096(293)0863

●メディア・リテラシーとは
日常生活において、私たちの身の回りには情報を得るためのメディア(テレビ、インターネット、新聞、雑誌など)があり、たくさんの方が情報をあふれています。
メディア・リテラシーとは、メディアから発信される情報をそのまま受け入れるのではなく、自らの判断で主体的に読み解き、活用する能力のことです。

◆メディア・リテラシーと男女共同参画
メディア・リテラシーは、男女共同参画だけに限らず、男女共同参画のキープドとして登場するのでしょうか。それは一部のメディアで、男女共同参画社会の意識づくりに影響を及ぼしかねない表現が見受けられるからです。例えば、「女性記者」「女流作家」といった職業や地位に触れるときに、女性の場だけ性別を用いる表現などです。



◆メディア・リテラシーを身につけよう
メディアの中には、「男性は仕事」「女性は家事や育児」など性別によって役割や行動、考え方を決めつけてしまう表現が残っています。その影響により、私たちは知らず知らずのうちに、価値観や考え方に影響を受けています。
メディアは、私たちの生活に欠かせない情報源ですが、メディアが発信するジェンダー(社会的文化的に形成された性別)などの情報を正しく読み解き、意図を理解しなければ、「女性・男性だからこうあるべき」という固定的なイメージが無意識に形成されかねません。メディアが描き出す女性像や男性像にとらわれず、自分らしい生き方を選択できるように、メディア・リテラシーを身につけましょう。
情報化社会である今こそ、一人一人のメディア・リテラシーへの意識の向上が求められています。メディアからの情報をただ受け取るだけでなく、何が正しいのか、必要な情報が何かを見極める能力を高め、男女共同参画社会の実現を目指しましょう。

おおづのしごと vol.30

株式会社巴商会 熊本営業所

ガスのことなら世界中どんなガスでも!



私たちは、ITやレーザーに应用される半導体材料ガスをはじめ、1,000種類に及ぶ産業用ガスを扱う専門商社です。産業用ガスは、アイスクリームやビールなどの身近な食品から、酸素吸入や麻酔などのちに関わる医療分野、IT、環境、ナノテク・バイオ、宇宙開発といった先端技術の開発まで幅広く使用されています。「目に見えないガスで、目に見える豊かさの実現へ」これからも巴商会は地域の発展と社会に貢献できるよう、努めてまいります。



【企業概要】

- 所在地 大津町大字杉水3188-1
- 業種 商社(高压ガス販売)
- 従業員数 19人※熊本営業所
- 事業内容 産業ガスと関連機器・設備の販売
- 連絡先 ☎096(294)8135
- ホームページ <http://www.tomoeshokai.co.jp/>

株式会社巴商会 熊本営業所 🔍検索

CROSSING CULTURES vol.09

オースティンが日本の文化とアメリカの文化を比較して紹介する「CROSSING CULTURES」コーナーの第9回は、アメリカの「バレンタインデー」を紹介します。バレンタインデーを通じて大切な人に日頃の感謝を伝えてもいいですね。

ハッピーバレンタイン♡

バレンタインデーは、アメリカでは交際中の人に人気のある祝日です。人によっては、ランチやディナーに何か特別なことをする人もいます。バレンタインデーには、ほとんどのカップルがお互いにプレゼントを贈るでしょう。

一般的には、男性から女性にチョコレートやぬいぐるみ、宝石などを贈ります。アメリカではホワイトデーはなく、チョコレートを自分で作ることもありません。チョコレートは通常、ハート型の箱に入っていて、中にはさまざまな味や種類のもが入っています。また、チョコクのようなハート型のキャンディーにメッセージを書いたものもあり、バレンタインデーの時期にはとても人気があるようです。このキャンディーは味が苦手な人

が多いのですが、メッセージが書かれていて喜ぶ人が多く、とても人気があります。

▼ハート型のお菓子

英語には「A happy wife is a happy life」ということわざがあります。妻が幸せなら、夫も幸せになれるという意味です。大事な人を思いやる大切さを説いています。

アメリカの男性は、間違ったことをしたときに、花やチョコレートを贈って謝るのが一般的です。大切な人が喜ぶように、サプライズで花やチョコレートを贈ることもあるようです。